

# 女性活躍推進行動計画について

学校法人東京聖徳学園では、女性が就業継続し活躍できる雇用環境の整備を行うため、下記のとおり行動計画を策定しています。

1. 計画期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日

2. 現状

女性採用数、管理職数、育児休業取得率は全国平均以上を継続している。今後の課題として、女性管理職の育成、女性の平均継続勤務年数が男性に比べ70%以下の職種の比率向上、男性職員の育児休業取得を推奨する施策の検討があげられる。

3. 目標①

課長相当職の女性管理職を育成し、管理職に占める女性割合30%を維持する。

<取組内容>

令和3年～ 自己申告による職員のキャリアについての意識調査を実施、女性職員のキャリア意識について分析、検討する。

令和4年～ 女性管理職候補者のキャリア意識の醸成、管理職養成等を目的とした外部研修への派遣等を実施。

目標②

女性職員の平均継続勤務年数の男性職員平均勤続年数に対する比率70%達成  
(現状68.3%)

<取組内容>

令和3年～ 職種別に離職要因を分析する。

妊娠を契機に退職が多い職種について、出産休暇、育児休業及び育児短時間勤務等の諸制度についての周知、取得の推進を図る。

目標③

女性職員の育児休業取得率の維持(90%以上)及び男性職員の育児休業等取得推奨のための施策の実施。

<取組内容>

令和3年～ 出産育児関連の制度等について広報活動を男性職員にまで拡充し実施。

令和4年～ 管理職向けマネジメント研修に出産育児関連の制度を追加して実施。

以上